**授業づくり研修講座　実践レポート**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相模野小学校　　佐々木　翔

**単元名　第５学年　「このあと、どうなる？」**

**実践のポイント（工夫）**

・作文の練習として、４コマまんがの状況を伝える作文に取り組ませる。

・児童が興味を持ち進んで取り組めるような作文のテーマを選ぶ。

・お互いが書いた文章を読み合い、よりよく伝わりやすいようにアドバイスをしたり感想を書いたりする。

**実践内容**

1. 作文の練習として、４コマまんがの状況を伝える作文に取り組む。
・新聞に掲載されている４コマまんがを見て、漫画を見ていない人にも面白さ・状況が伝わる

ように、文章で書く。

1. 登場人物をおさえ、自分で考えた展開をメモし、文章にまとめる。

・物語を考え、書き上げる十分な時間を確保する。

1. 自分が書いた物語の展開と結末の文章について友達と交流する。

・友達の物語を読んで感じたことや、工夫したほうが良いところなどについてアドバイスした

り感想を書いたりする。

1. 作文活動の仕上げとして、理想作文に取り組む。

・「９月に行われる運動会がこうなったらいいな。」と思う展開を物語風に作文する。

**成果**

○その時の状況を詳しく書くようになり、その場にいるかのように躍動感のある作文を書く児童が多かった。読み手がその場の状況を理解できるように、工夫して取り組む児童が増えた。

○日常を描いた４コマまんがを題材に選んだことによって、自分たちの生活に結び付けることができた。

○友達と交流したことによって、自分ではわからなかった表現の良さや工夫を知ることができた。「友達の良い作文の真似をしよう。」「次はこう書いてみよう。」という意欲が生まれた。

○理想作文では普段の作文と違い、本当にあったことを書く必要はないので、表現を工夫できて積極的に取り組むことができた。